

「このインストゥルメンタル・アルバムの制作中に書いたものだった。あと「アメリカン・ヴェーティ」は俺がほとんど書いた曲だ。俺はもう20年前に書いた曲だからね。俺も書いても、アルバムの中の曲は全部俺が書いたものだよ。そうすることで、最も俺のサウンドを得ることが出来たんだ。

ミスター・ビッグとしてのソングライティングスタイルはどう変化しましたか？

俺はほとんど変わっていないな。俺とビリー、俺はロサンゼルスに住んでいるから、集まってセッションをやったり、いろんなアイデアを出して、それをサンフランシスコに住んでいるエリックに送って、彼はさらに自分のアイデアを加えて送り返してくる。昔から俺は自分で曲を書いてきたし、今回も同じだよ。

アルバムの中の楽曲はハードにロックする曲が多い。ギョブ路線の曲は少なめですが、それは意図したことでしょうか？

いや、どのアルバムについても言えることだけど、俺たちの書く曲はその時の自然なフローリングを反映したものなんだ。ただ、このアルバムを作るときに、ロックしたい気分だったことは確かだ。俺が思うに、ミスター・ビッグ・サウンドの最も重要な要素の一つはボーカル・ハーモニーなんだ。バラードだろうとハイエナジーのロックだろうと、一緒に歌うことが出来るのが重要な要素なんだよ。

俺たちのギターとビリーのベースの高速ハイテンションはどのようなものでしたか？

ビリーと俺は、ほとんどリハーサルをやらなかった。自分自身にとっても驚きだけど、俺はうまく行ってるんだ。アルバムで最もレイジーなプレイは、レコーディング当日までリハーサルすらなかったんだ。どの曲もインプロビゼーションか、それともその曲に合わせたものだ。もちろんそれはある日突然出来るわけではなく、何年も練習してきたから出来るんだ。俺はギターを弾くのが大好きだし、常に練習して、新しいことを学ぼうとしている。それはビリーにしても同様だ。だから俺たちは常に新しいアイデアを持っている。もちろんそれはバットとエリックにも当てはまることだよ。

ミスター・ビッグに全力投球するよ

アルバムではどの曲で、どんなギターを弾きましたか？

どの曲でどのギターを弾いたかは覚えてないけど、あっという間にレコーディングしてしまっただけから、記憶がぼやけているんだよ！ 俺が弾いたのはアイバニースのファイアーマン（プロンドのコーリーナ）、アイバニースのバット・メセニー・モデルのホロウボディ・ギター、79年製のアイバニース2630アコースティック・モデル、それから90年代初めのアイバニースのPGM12弦ギター。たぶんそれくらいなものだと思う。

ファイアーマンの「菊水」は弾きましたか？

2曲ぐらいのオーバーダブで弾いたけど、ケヴィン・シャーリーはあまり弾かせたくないようだったんだ。あのギターはあまりに新品同様なんで、きっとボロボロの使い古したギターほど良い音が出ないと思込んでいたのさ。「ピカピカだということはほとんど弾いていないということ、それは良い音が出ないからだろう？」って論法でね！ でも実際にはあのギターのことをすごく気に入っているから、傷がつかないように気をつけているんだ。これからも気をつけて弾くつもりだ。ただ、ケヴィンに見つかると文句を言われるから、彼の見ていないところでね！

アンプやエフェクトはどんなものを使いましたか？

アルバムを通して、アンプはマーシャルのヴィンテージ・モダン2266cを使った。エフェクトはボリュームを抑えながらパワー・チューブの音量を上げるのに、THDホットプレートを使っているよ。あとソロでサステインを得るのにマジック・ボックスの「ファズ・ユニヴァース」を使っている。フランジャーは何台か使っていて、アイバニースのエアプレーン・フランジャー、古いADAフランジャー、それからフルトーンのコーラル・フランジャーを使っている。ソロではMXRのフェイズ90も使った。「オール・ザ・ウェイ・アップ」のクリーンサウンドではHBEのデトックスEQとHBEのCPRコンプレッサーを使っている。

ソリッド・ボディ/セミ・アコースティック/フル・アコースティックはどのように弾き分けましたか？

セミアコやフルアコにはそれぞれ独特のレゾナンスがあるんだ。アコースティック的なフィーリングがあれば、アンプに繋いで低域のフィードバックがあつて困ることもあるけど、スタジオならコントロール出来るしね。ソロやコードを弾くときに幅広い音が出せるんだ。リスナーが聴き分けられるかは判らないけど、自分にとっては重要な違いなんだよ。ソリッド・ボディよりも雄弁だと思う。

「ノーバディ・レフト・トゥ・プレイム」と「オール・ザ・ウェイ・アップ」ではアコースティック・ギターがフィーチャーされていますが、どんなギターを弾いたのですか？

アコースティックはテイラーの6弦ギターとタコマの12弦ギターを弾いたよ。型番は判らないんだ。テイラーは20年前に買ったもので、「トゥ・ビー・ウィズ・ユー」でも弾いている。ナンバー1ヒットをもたらしてくれたギターだから、感謝しているんだ。タコマは東京に住んでいた頃に買った。アルバムを完成させたときに、自分へのご褒美としてギターを買うことがあるんだ。このギターを買ったのは、どのアルバムの時だったか忘れてしまったけど、「ロウ・ブルース・パワー」(02)だったか、それともMr.ORANGEのアルバムをプロデュースした時だったかも知れない。アルバムでは全面的にエレクトリック・ギターをフィーチャーしているけど、アコースティックを入れることで、クリアで厚みのある音を出すことが出来ると思うんだ。

ガット・ギターは弾きましたか？

いや、アコースティックには常にメタル弦を張っている。アーニー・ボールの「アースウッド」で、鋼と亜鉛の弦だよ。

アコースティックを弾くのは、どんな音楽的場面においてですか？

ミスター・ビッグではアコースティックや、エレクトリックでもクリーンなトーンで弾くのが好きなんだ。ディストーション・ギターですべてを埋め尽くしてしまうよりも、その方が音に隙間が出来て、ボーカル・ハーモニーやビリーのベースを生かすことが出来るからね。とはいっても、特にアコースティック専用のテクニックは持っていないんだ。ただ、エレクトリックと比べてアコースティックはメリハリが必要で、短音はラウドに、コードはソフトに弾くようにして、音量のバランスをとるようにしている。

今回の写真ではボルドー色のファイアーマンを持っていますが、このギターはファイアーマン1のカラー・バリエーションですか？ それとも新しいモデルなのですか？

このギターはコーリーナ製のファイアーマンと似たスペックだけど、色が異なっていて、ネックのシェイプも異なっているんだ。全体的に小さいから弾きやすいんだ。このギターは「ファズ・ユニヴァース」(10)でかなり弾いたけど、その後改造することにして、アイバニースのカスタム・ショップに預けていた。だから「ホワット・イフ…」では弾いていないんだ。基本的に、ネックのシェイプとフレットをちょっと変えたかったんだ。今ではすごく気に入っているギターだよ。ヨーロップ・ツアーでは全曲でこのギターを弾いているし、今後これを元にしてシグネチャー・モデルを出そうとアイバニースと話しているんだ。ただ、いろいろディテールを決めなければならないし、まだ先の話だけだね。

4月に行われるミスター・ビッグのジャパンツアーについて教えて下さい。前回の来日公演とはどう異なりそうですか？

ミスター・ビッグは常に音楽そのものを大事にしてきたバンドだ。今回はニューアルバムに伴うツアーだから、新しい曲をたくさんプレイすることになるよ。ただもちろん、昔のアルバムからのみんなのフェイバリット・ソングも演ることになるし、いくつかサブライズも用意していくつもりだ。今回のツアーでは、日本で100回目となるショーをやるんだ(4月7日の大阪公演)。凄いことだよな。ステージ上で祝うつもりなんだ！

今後ミスター・ビッグ以外のソロキャリアは続けていくのでしょうか？ 現時点で具体的なスケジュールは決まっていますか？

いや、俺は3ヶ月以上先のスケジュールは考えないんだ。おそらくミスター・ビッグのツアーはそれより長いものになるだろうし、今後のバンド外の活動はまったくの白紙だよ。ただ、これからもソロアルバムやツアー、他のアーティストとのコラボレーションは続けるつもりだ。この11月から12月にかけてソロツアーをやる予定が入っているけど、それが終わったらミスター・ビッグに全力投球するよ。俺の世界はミスター・ビッグ一色になるんだ！